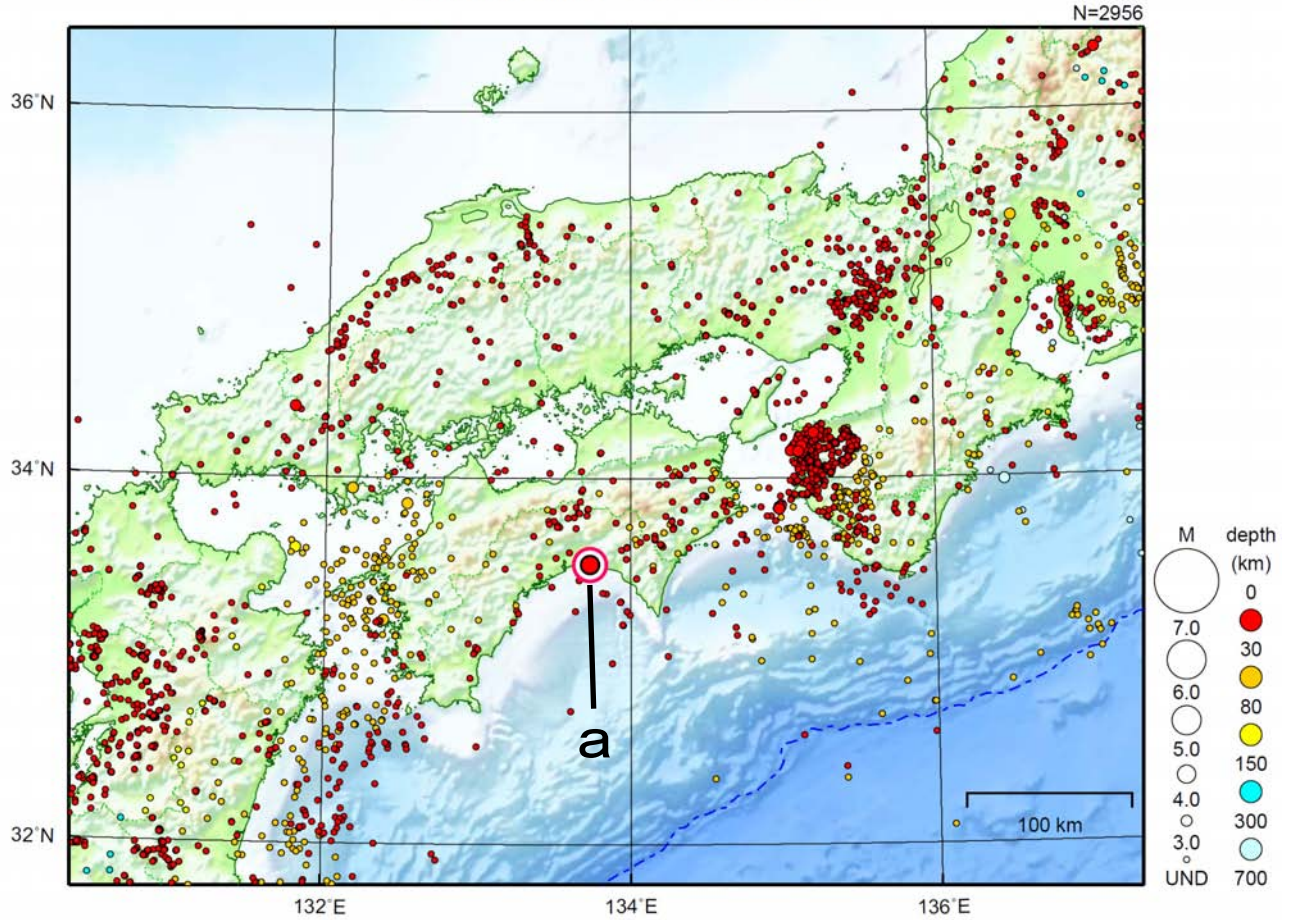


近畿・中国・四国地方

2010/10/01 00:00 ~ 2010/10/31 24:00



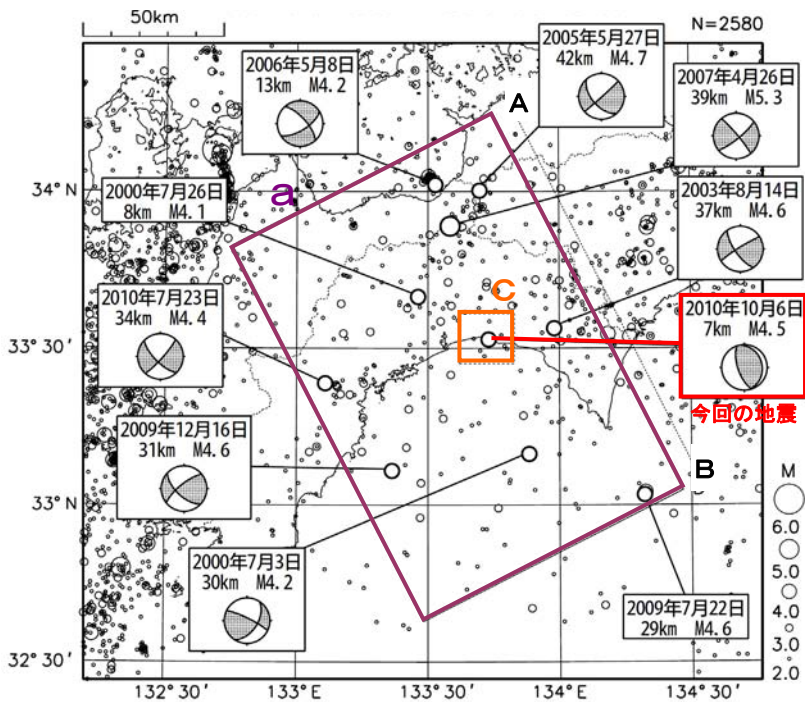
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 10月6日に土佐湾で M4.5 の地震（最大震度4）が発生した。

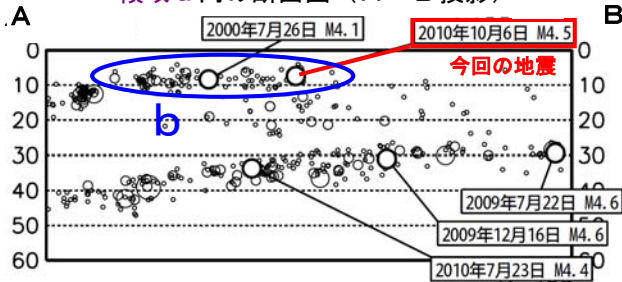
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

10月6日 土佐湾の地震

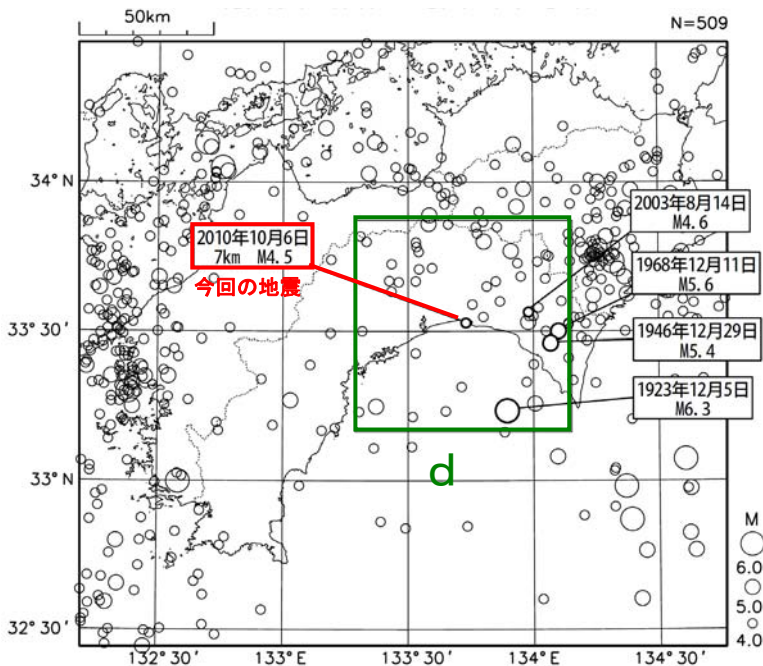
震央分布図 (1997年10月1日~2010年10月31日、
深さ0~60km、 $M \geq 2.0$)



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日~2010年10月6日、
深さ0~60km、 $M \geq 4.0$)

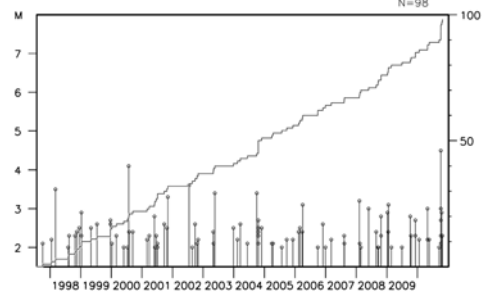


2010年10月6日13時51分に土佐湾の深さ7kmでM4.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

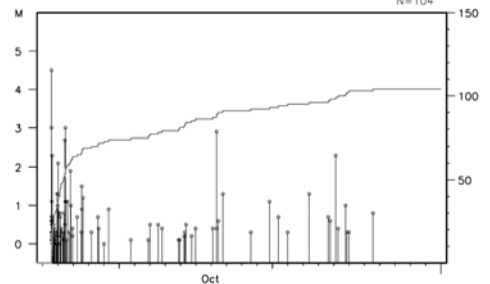
余震活動は、消長を繰り返しながら次第に減衰している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)でM4.0以上の地震が発生したのは、2000年7月26日のM4.1の地震以来であった。

領域b内の地震活動経過図と回数積算図
(1997年10月1日~2010年10月31日、 $M \geq 2.0$)



領域c内の地震活動経過図と回数積算図
(2010年10月6日~31日、Mすべて)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域d)では、最近30年間で、M4.0前後の地震が数年に1回程度発生している。

領域d内の地震活動経過図
(1923年8月1日~2010年10月31日、 $M \geq 4.0$)

